

人形供養祭

Doll Memorial Ceremony
人偶供養祭
인형 공양제



人形供養祭とは、お子様がこの世に生を受け、成人されるまでの身代わりとなって災いや厄を受けてくれた人形たちに「ありがとう」という感謝の気持ちを込めて供養する儀式です。

毎年11月14日(県民の日)に勝願寺にて行われています。

The Doll Memorial Ceremony is held to commemorate old dolls with gratitude. It is because the child's doll is believed to act as substitute for her to accept misfortunes she may encounter from birth to adulthood.

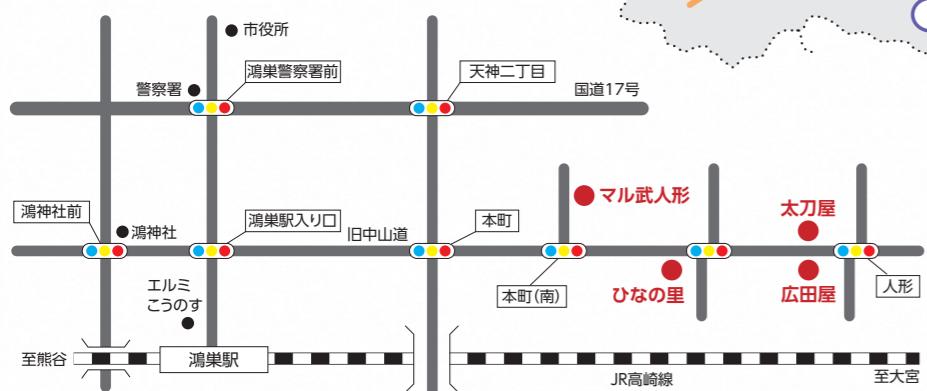
It is held annually at SHOGANJI Temple on November 14th (Prefectural Citizen's Day).

人偶供養祭は一種の供奉人偶の儀式で、子供出生から成年まで、一直として替身为孩子挡灾消难の人偶表达感激之意。

毎年 11 月 14 日（県民の日）在勝願寺举办。

인형 공양제는 아이가 태어나 성인이 될 때까지 대신 재앙과 악운을 받아 준 인형들에게 감사의 마음을 담아 공양하는 의식입니다.

매년 11월 14일(현민의 날)에 소간지 절에서 열립니다.



Access Map

鴻巣びっくりひな祭り

KONOSU Surprise Doll's Festival
鴻巣惊喜女儿节
고노스 깜짝 히나마쓰리

ひな人形のふるさと～鴻巣～を広く宣伝すること、全ての市民でひな祭りを楽しむこと、市外から多くの観光客をお迎えし、まちを明るく元気にすることを目的に2005年から開催。メイン会場と5つのサテライト会場を中心に、まち全体でひな祭りを祝います。“日本一ネット”で「ひな人形で飾る日本一高いピラミッドひな壇」認定。



This festival has been held since 2005 not only to promote KONOSU as the hometown of HINA dolls, but also for encouraging all citizens to enjoy the tradition-based festival and the revitalized towns together with a huge number of visitors from outside the city. The whole town is involved in the celebration of the HINA dolls festival that is centered on one main venue and 5 satellite venues. The HINADAN is certified as "Japan's highest pyramid doll stand decorated with HINA dolls" on the NIPPON-1 Net.

从 2005 年开始举办，目的是广泛宣传人偶之乡～鸿巢～，让全体市民共同欢享女儿节，吸引大量市外游客，让城市充满明媚活力。以主会场和 5 个分会场为中心，全城一起庆祝女儿节。会场内展出的人偶陈列台被“日本一网站”认证为“日本最高用人偶装饰的金字塔形人偶坛”。

하나마쓰리의 고향 고노스를 널리 홍보하고 모든 시민이 하나마쓰리를 즐기는 것은 물론 시외에서 많은 관광객에게 와주셔 밝고 활기찬 도시를 조성하려는 목적으로 2005년부터 개최합니다. 메인 행사장과 5개의 세타ライト 행사를 중심으로 도시 전체에서 하나마쓰리가 열립니다. '닛폰이치넷'에서 일본에서 제일 높은 피라미드 하나단(하나인형을 진열하는 단) 인증 원료.

鴻巣の特産品

KONOSU BINA

鴻巣びな

and

鴻巣の赤物製作技術

埼玉県伝統的手工芸品

Saitama Traditional Handicraft
埼玉县传统手工艺品
사이타마현 전통 수공예품



一般財団法人 鴻巣市観光協会
〒365-0037 鴻巣市人形1-4-20「ひなの里」内

048-540-3333

※観光協会の会員、観光にかかるボランティアを募集中です。
2023.3

FAX048-594-8291 (9:00~17:00)
毎水曜日・年末年始休館

URL <https://konosu-kanko.jp>

E-mail info@konosu-kanko.jp

Facebook [@konosu.hinanatosato](https://www.facebook.com/konosu.hinanatosato)

Twitter twitter.com/Hinanatosato_Skat

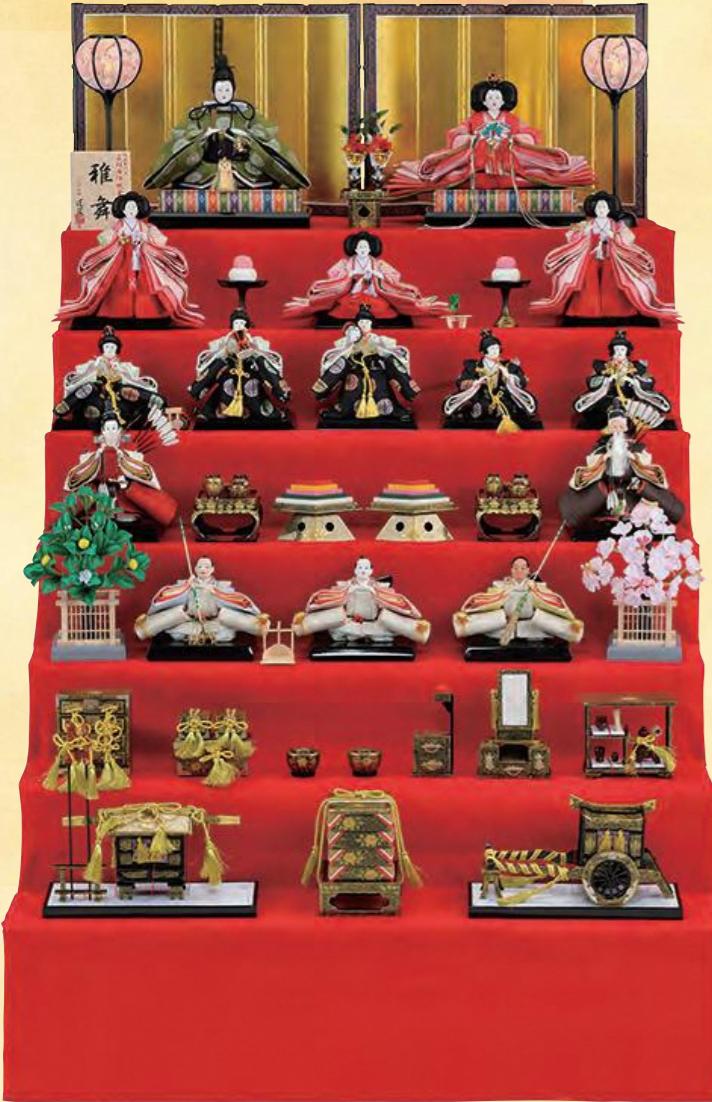


鴻巣特産品
販売中



鴻巣びな

KONOSU Doll
鴻巣人偶
고노스비나



ひな祭りの起源

ひなまつりの起源は、平安時代の中頃「ひとがた」「形代」という草や紙で出来た人形で体の「穢れ」などを拭い身代わりとして川などに流した「流し雛」や宮廷の婦人や子どもたちの間で紙で作った小さな人形や身のまわりの家具や道具をまねた玩具で遊ぶ「ひいなあそび」が結びつき生まれたもので、江戸中期に3月3日を初節句としてお祝いする日になりました。



マル武人形

〒365-0037
埼玉県鴻巣市人形2-1-8
TEL : 048-541-3517

ひな人形の着付け作業等の見学ができます(事前要予約)



広田屋

〒365-8514
埼玉県鴻巣市人形1-6-18
TEL : 048-541-8888

ひな人形の頭(お顔)の製作作業等の見学ができます
(団体のみ受付・事前にご相談ください)

鴻巣の特産品

Red Good-luck Talisman
鴻巣紅漆摆件
고노스 붉은 인형

鴻巣の赤物

江戸時代、ひな人形のまちとして関東でも屈指の鴻巣は、桐の産地でもありました。桐のタンスや家具を作った後に出るおがくずと糊を混ぜた材料で原型を作り、全体を赤く塗り重ね、彩色を施します。これは、ひな人形の頭部とほぼ同じ製法です。

昔から赤色の物は、魔を除けると伝えられ一種のおまじないから人形師によって赤物人形は考案されたと云われています。江戸中期から300年以上の伝統を持っています。

- ・「熊金」「鯉金」は子どもの無病息災を願って与える子どものお守り。
- ・「獅子頭」は家内安全、魔除けのお守り

Renowned for its doll-making expertise in the Edo period, KONOSU was also a cultivation area of paulownia trees for producing furniture. The paulownia sawdust is used as an ingredient for making AKAMONO and also heads of HINA dolls. The procedure of making AKAMONO includes these steps: mixing sawdust with glue, putting the mixture in a mold, drying it completely, painting the doll red and then decorating it with pretty patterns.

It has long been known that red objects ward off evil spirits, and the red doll is said to have been invented by a doll maker as a type of good-luck charm. This tradition of creating good-luck charms dates back more than 300 years to the mid-Edo period.

* 'KUMAKIN' (KINTARO with a bear) and 'KOIKIN' (KINTARO with a carp) are children's amulets used to pray for children's good health.

* 'SHISHIGASHIRA' (lion mask) is a charm for home safety and is used as a talisman against evil.

江戸時代、関東首屈一指の人偶之城鴻巣同时也是桐木产地。使用制作桐木衣柜和家具产生的木屑与浆糊混合而成的材料制作模型。整体涂抹成红色，之后添加彩色装饰。这种手法与人偶的头部制作方法基本相同。

据说自古以来红色物品可以避邪，因此人偶师才会制作红漆摆件人偶。从江户中期开始，这个传统已延续了三百余年。

・“熊金”“鯉金”是祈求孩子们无病无灾的儿童护身符。

・“獅子头”是家宅平安、驱魔的护身符。



【生地の乾燥】生地抜きの終わったものを並べて天日干しにします。小さいものでも1週間ほどかけて、ゆっくり乾燥させていきます。



【赤塗り】胡粉塗りが終わると、赤とオレンジ2種類の塗料を膠(にかわ)で溶かしたものを使用して、白く塗った赤物を赤く着色します。十分乾燥させた後に2度目の塗りをしてしっかりと着色します。



【彩色・面相描き】赤物に目鼻や細かい模様などを描き、仕上げ作業に入ります。様々な種類の筆を巧みに使い、赤物独特の表情が描かれます。手作業のため、微妙な表情の違いに温もりが感じられます。



太刀屋

〒365-0037
埼玉県鴻巣市人形3-1-51
TEL : 048-541-0568

国指定重要無形民俗文化財である鴻巣の赤物製作技術を見学できます(事前要予約)



〒365-0037
埼玉県鴻巣市人形1-4-20
TEL : 048-540-3333
毎水曜日・年末年始休館

鴻巣市産業観光館
ひなの里

〒365-0037
埼玉県鴻巣市人形1-4-20
TEL : 048-540-3333
毎水曜日・年末年始休館

